Premium Grade
Digital Headphone Amplifier

マニュアル

ご使用前にこのマニュアルをよくお読みの上、
正しくお使いください。
そのあと保管し、必要なときにお読みください。
このマニュアルには保証書が付いておりますので大切に保管してください。

目次

2

安全上のご注意　● 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

危険	この表示は、死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。
警告	この表示は、死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容です。
注意	この表示は、傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容です。

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意」内容です。	感電注意	高温注意
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。	分解禁止	ぬれ手禁止
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。	電源プラグをコンセントから抜く	必ずする

⚠ 警告

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない

禁止

たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

分解・修理・改造しない

分解禁止

火災・感電の原因になります。
修理はサポートセンターへご相談ください。

ACアダプター・コードを破損するようなことはしない

禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
修理はサポートセンターへご相談ください。

使用上のご注意

■ **機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり、ぬらしたりしない**

禁止

火災・感電の原因になります。
ぬらした場合は、ACアダプターを抜いてサポートセンターへご相談ください。

■ **煙・異臭・異音が出たり、落下・破損したときは使用しない**

禁止

火災・感電の原因になります。
ACアダプターを抜いてサポートセンターへご相談ください。

■ **雷が鳴ったら本機やACアダプター・接続コードに触らない**

接触禁止

感電の原因になります。

⚠注意

湿気や油煙・ほこりの多い場所では使用しない

禁止

火災・感電・故障の原因になります。
ほこりが付着した場合は、エアクリーナー等でやさしく吹き飛ばしてください。

本製品の取り扱いに関するご注意

■ 本製品の 部品類を取り外さない

分解禁止

火災・感電・故障の原因になります。

使用・保管上のご注意

■ 次のような場所での使用や保管はしない（搬送時も含む）

注意

- 直射日光のあたる場所
- 海岸・水辺・トイレ・浴室・台所などの水周りの場所
- 高温になる場所
- 湿気やほこりの多い場所
- 温度差の激しいところ
- 振動の激しいところ
- 衝撃の加わる恐れのある場所
- 強い磁力・電波の発生するものに近い場所
- 漏電・漏水の危険のある場所
- 傾いた場所・不安定な場所
- 静電気の影響の多い場所
- 腐食性ガスの存在する場所
- 結露する場所
- 液体中・真空中・雨天・降雪中・超低温・宇宙空間・体内など常軌を逸する場所
- 子供やペット、その他誤った使用をする恐れのある第三者に遭遇する恐れのある場所
- その他一般的に精密機器にそぐわない場所は避けてください。

接続・使用上のご注意

■ ケーブル類を折り曲げたり、強くひっぱったりしない

禁止

火災・感電・故障の原因になります。
特にACアダプターケーブルにご注意ください。

■ 本製品に触れるときは、必ず静電気を取り除く

必ずする

精密機器において、静電気は厳重注意です。
本体に触れる前に水道の蛇口や他の金属物に触るようにすれば、放電の衝撃を和らげることができます。

■ スピーカー・ヘッド ホン　音量はゼロから初め、少しずつ適正な量まで調整 (パソコン起動時も含む)

禁止

大音量は聴覚器官を破壊します。騒音の漏洩にも留意してください。

大音量はヘッド ホン　・スピーカー・その他のオーディオ機器を破損する恐れがあります。

■ 光端子を使用する製品では、レーザー光を直視しない

禁止

視力を失う恐れがあります。

■ 本製品について

- 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、サポートの対象外となります。あらかじめ、ご了承ください。
- 本製品は人命に関わる設備、高度な信頼性を要する設備に組み込んで使用することを意図されておりません。損害が生じても、弊社及び代理店、販売店では、いかなる責任も負いかねます。

製品紹介

■ DAC (Digital to Analog Converter) + USBサウンドデバイス + ヘッドホンアンプ

DR.DAC2は24bit/192kHz対応のDAC、24bit/96kHz対応のUSBサウンドデバイス、そしてヘッドホンアンプとして設計されています。
ダイナミックレンジ 123dB/THD+N:0.0005%という超高性能を誇るTI社のDAC(PCM1798)を採用し、高級オーディオ機器に搭載される FDO(Full Differential Output) 方式のトリプルOPAMP回路をソケット式にて構成しました。更に三洋OS-CON、WIMAコンデンサー、高級フィルムコンデンサーの採用などにより、DR.DACは大幅な進化を遂げ、今までにない音質を実現しました。

■ DAC機能

ご使用のCDプレイヤーやパソコンにDR.DAC2をデジタル接続することで、高音質オーディオシステムとなります。光／同軸のデジタル(S/PDIF)入力、USB入力に対応し、RCAライン出力とヘッドホン出力を選択できます。
DR.DAC2をお使いいただくことで、音楽CDが持つ理論的な音質の限界まで出力し、今まで再生しきれていなかった曲が持つ音情報をより再現できます。

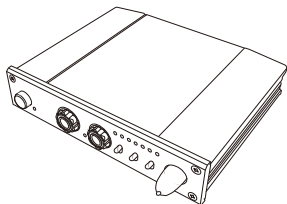
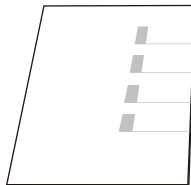
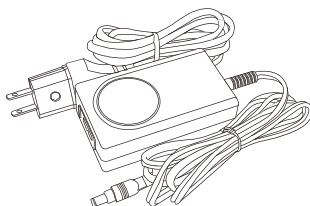
■ ヘッドホンアンプ機能

DR.DAC2のヘッドホンアンプは300Ω以上のインピーダンスが高いヘッドホンを使う際にも優れた性能を発揮します。また、2つのヘッドホンを同時に使えるデュアルヘッドホン出力を搭載しています。 OPAMPはソケット式になっているため乗せ替えにより音質のチューニングが可能です。

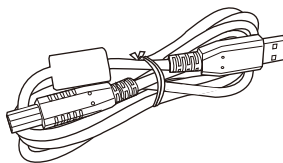
■ USBサウンドデバイス

DR.DAC2は24bit/96kHz対応のUSBコントローラー内蔵しました。パソコンと簡単にUSB接続し、高性能USBサウンドデバイスとして使用できます。USBサウンドデバイスとして使う場合にもDR.DAC2のDAC、ヘッドホンアンプなどの全機能が使え、光入力またはUSB入力の場合は録音機能も可能になります。

製品紹介

■ 付属品

製品本体

取扱説明書(本書)

ACアダプター (DC 15V / 1A - 2A)

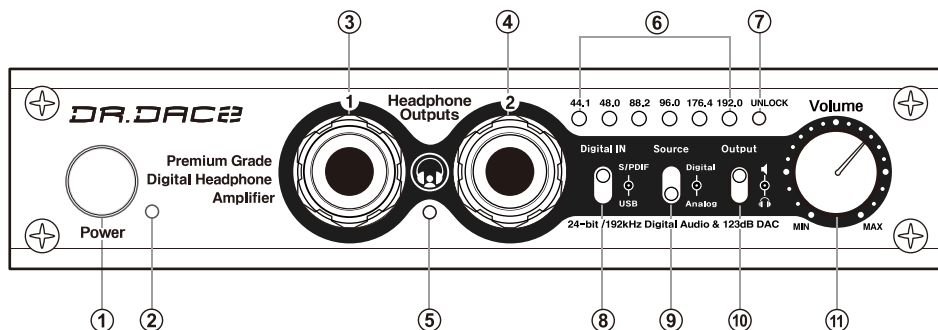
USBケーブル (AtoB Type)

※ 必ず付属品をご使用下さい。
※ 上記の付属ACアダプターは予告なく、変更する場合があります。

※ ドライバーなどのCDROMは付属されていません。

■ 特長

- Premium grade 300mW(max) Headphone Drive amplifier (constant current bias TR buffers)
- High-end quality 24bit 192kHz stereo D/A Converter (Dynamic Range: 123dB / THD+N: 0.0005%)
- Highest Performance Audio Operational Amplifiers : FDO(Full Differential Output) Support
- Precision instrumentation input pre-amplifiers
- Ultra low distortion & low Noise output amplifiers
- Wide Range Headphone Impedance support (16 ~ 600Ω)
- Real Dual power Supply (+/-) Converter
- S/PDIF Coaxial and Optical TOS-LINK Digital Inputs / USB Input
- Stereo Unbalanced Analog RCA Line inputs / outputs
- Dual 1/4”　TRS Headphone output port
- LED Indicator for Sample-rate information
- Input & Output Select Switch
- Supported sample rate : 44.1, 48, 88.2, 96, 176.4, 192 kHz (@±3%)

各部の名称と機能

■ フロントパネル

① 電源スイッチ / ② 電源ランプ

電源のオン / オフスイッチと電源状態を現わすLEDランプです。ACアダプターを接続し、電源スイッチを押してオンにすると、電源ランプがゆっくり3回点滅し動作状態になります。　スイッチを再度押してオフにすると、電源ランプがゆっくり2回点滅した後に電源が切れます。

※スイッチがオンの状態でACアダプターを接続したり取り外したりしないでください。

※電源ランプ点滅時は初期化や待機状態への各種処理を行っています。万が一動作がおかしい際は、ACアダプターの再度取り付けや、電源スイッチの入れ直しなどを行ってください。

電源のON/OFF動作には機器の初期化およびシャットダウン処理のため一定時間を要します。

Headphone Output端子にヘッドホン以外のプラグやケーブルを接続しないでください。

ヘッドホンの接続は機器の電源がオフになっている状態でボリュームを最小にしてから行ってください。

③ / ④ ヘッドホン出力 1/2

2つのヘッドホン端子は同じ再生音を出力しますが、出力ゲインが異なります(OUTPUT　1:8dBV、OUTPUT　2:20dBV)。したがって接続するヘッドホンの種類やお好みで選択することが可能です。一般的には16〜300Ωのヘッドホンを使用時にはHeadphoneOutputs1を、300Ω以上のスタジオモニター用などの高インピーダンスヘッドホン使用時はHeadphoneOutputs2をお選びください。

※ Headphone Outputs 2にヘッドホンを接続すると1端子にも2端子と同じ出力ゲイン(20dBV)が適用されます。2つのヘッドホンを同時に使う場合は必ず同じインピーダンスのヘッドホンをご利用ください。

⑤ 動作ランプ

電源スイッチがオンの状態で入力信号がない場合、またはボリュームを最小にして出力がほとんどない場合は低い明るさの点灯状態となります。ボリュームを上げて出力ゲインが増加するとランプの明るさが強弱し、動作状態が表示されます。

⑥ / ⑦ 周波数インジケータ

DR.DAC2は44.1kHz、48kHz、88.2kHz、96kHz、176.4kHz、192kHzの周波数に対応します。デジタル入力またはUSB入力から正常なS/PDIF信号が検出されれば該当する周波数のLEDが点灯します。入力周波数が±3%の範囲を超えたり、正常な信号ではない場合はUNLOCK LEDが点灯し、DAC(D/Aコンバータ)は正常動作できません。

⑧ デジタル入力切り替えスイッチ

デジタル入力モードを選択するスイッチです。スイッチをS/PDIFに選択すると光／同軸端子にデジタル入力されたS/PDIF信号が選択されます。DR.DAC2のUSB端子とパソコンのUSBポートとを接続してDR.DAC2をUSBサウンドデバイスとして使う場合はUSBに選択します。

各部の名称と機能

⑨ ソース切り替えスイッチ

デジタル入力とアナログ入力の選択スイッチです。光／同軸端子からのデジタル入力、またはDR.DAC2をUSBサウンドデバイスとして使用時にはDigitalに選択します。Analogに選択するとRCAライン入力端子に接続したアナログ信号がプリアンプ回路を経てヘッドホン出力やライン出力で出力されます。

※ デジタル(光／同軸／USB)入力のDAC機能時に、FDOトリプルOPAMP回路が動作します。
　アナログ入力の場合はライン出力のプリアンプとヘッドホン出力のプリアンプが適用されます。

⑩ 出力切り替えスイッチ

リアパネルのRCAライン出力と、フロントパネルのヘッドホン出力のどちらかを選択して出力します。同時出力には対応しません。
スイッチを上側 🔈 にすれば、リアパネルのRCAライン出力、スイッチを下側 🎧 にすればフロントパネルのヘッドホン出力が選択されます。
※ ヘッドホン出力からRCAライン出力に切り替えはスピーカー保護回路が働くため、一定時間(約2〜3秒)を要します。

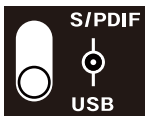
⑪ ボリューム調整つまみ

RCAライン出力とヘッドホン出力レベルを調整します。

■ スイッチ切り替えについて

Digital IN

▶デジタル入力セレクタ

- 光・同軸　入力を選択

- USB　入力を選択

Source

▶ソースセレクタ

- デジタル　入力を選択

- アナログ　入力を選択

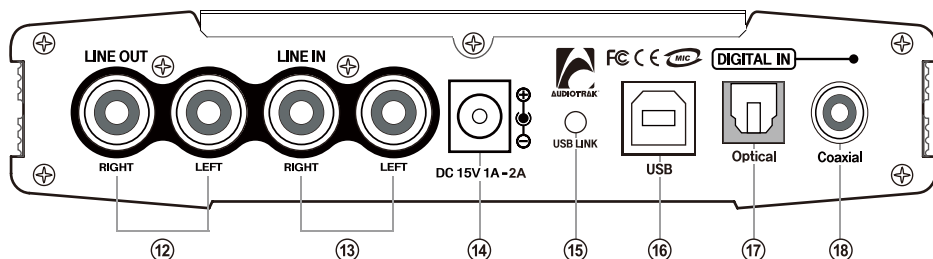
Output

▶出力セレクタ

- ライン(RCA)　出力を選択

- ヘッドホン　出力を選択

各部の名称と機能

■ リアパネル

⑫ ライン出力

RCA端子のライン出力にはプリメインアンプ、パワーアンプ、アンプ内蔵型スピーカーなどを接続します。アンプが内蔵されていないパッシブスピーカーは必ずアンプを使って接続して下さい。

⑬ ライン入力

RCA端子のライン入力にはCDプレイヤー、パソコン、MP3プレイヤーなど様々な機器からのアナログ出力を接続します。

⑭ 電源コネクタ

必ず付属のACアダプターを接続してください。

⑮ USB接続インジケータ

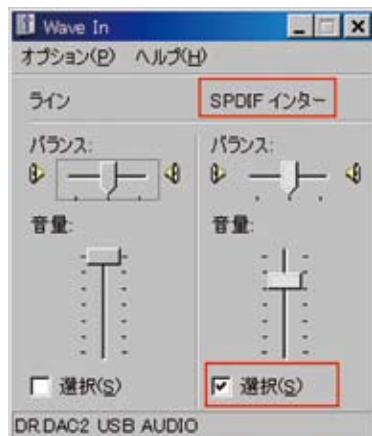
パソコンとUSB接続した際に点灯します。USBからの電源はUSBコントローラーの認識に適用され、DACとアナログ回路とは分離されており、USBでのバスパワー動作には対応しません。

⑯ USB端子

DR.DAC2はUSBオーディオ機能（24bit/96kHz対応）を内蔵し、パソコンと簡単な接続でUSBサウンドデバイスとして使用できます。

※注意 1：USB入力の際は、必ずACアダプターを接続し、DR.DAC2の電源を入れた状態でパソコンとUSB接続して下さい。

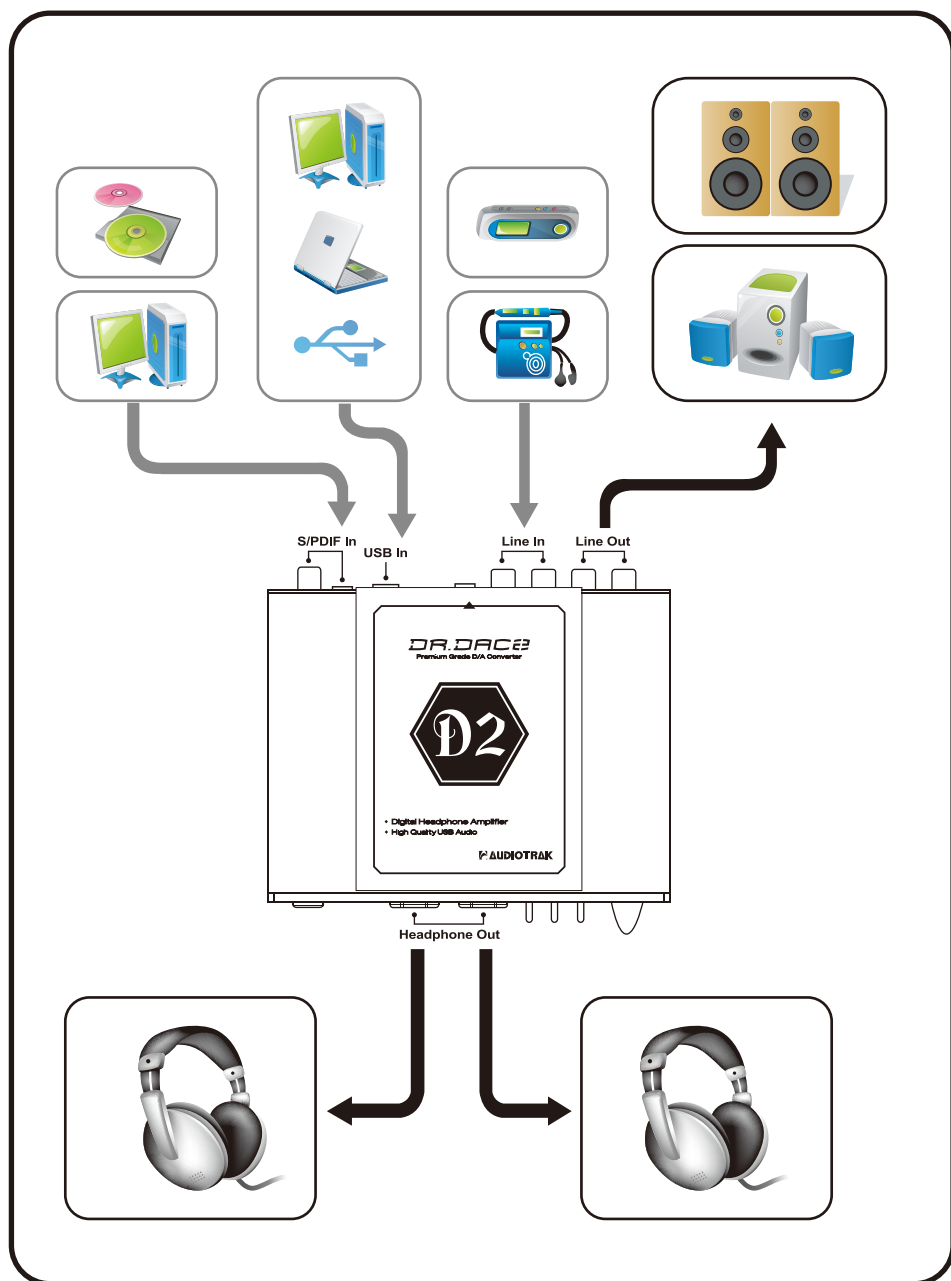
▶DR.DAC2 USB AUDIOは再生だけではなく、Windows再生音を録音することも可能です。
DR.DAC2でWindows再生音を録音する場合は、Windowsステータスバーの右側にあるシステムトレーのボリュームアイコンをクリックし、Windows録音ミキサーを開き、下図のようにS/PDIFインターフェースを選択します。

各部の名称と機能

▶ DR.DAC2のフロントパネルのデジタル入力切替スイッチをS/PDIFに設定すると、CDプレイヤーなどの光出力からデジタル(光・PCM)信号をDR.DAC2の光端子に接続し、S/PDIF信号を無損失で録音できます。
※ 注意 2：光入力またはUSB入力時は、Windowsの録音ミキサーを使用できます。

⑰ / ⑱ デジタル入力

光/同軸(44.1kHz～192kHzのS/PDIF-PCM信号に対応)端子のデジタル接続が可能な機器(パソコン、CDプレイヤー、DAT、デジタルミキサーなど)を接続できます。光と同軸の端子を共に接続すると、先に接続認識(Locking)した側で動作します。

接続と使用方法

S/PDIF In
USB In
Line In
Line Out
DR.DAC2
Premium Grade D/A Converter
D2
• Digital Headphone Amplifier
• High Quality USB Audio
AUDIOTRAK
Headphone Out

接続と使用方法

1. デジタル入力(S/PDIF In)

サウンドカードやCDプレイヤーなどのデジタル出力(光／同軸)が可能な機器接続し、DR.DAC2内蔵のDAコンバータとFDO(Full Differential Output)方式のトリプルOPAMPアナログ回路によって高音質で音楽鑑賞が可能です。

※ 2チャンネルPCMデジタル信号以外のDolby DigitalやDTSには対応しません。

2. USB入力

パソコンのUSB端子と接続し、USBサウンドデバイスとして使用できます。PCとUSB接続時には、DR.DAC2のUSB AUDIOサウンド機器がWindowsによって自動認識され、新しいハードウェア検索ウィザードとともにWindowsUSB AUDIOドライバーが自動インストールされます。コントロールパネル→サウンドおよびオーディオデバイス→オーディオ項目にDR.DAC2 USB AUDIOが表示されます。

※DR.DAC2をUSB接続にて使用する際には、DACとヘッドホンアンプの機能を全て使用でき、DR.DAC2をUSBサウンドデバイスとして使用できます。

(1) パソコンのUSB端子に接続するとDR.DAC2に内蔵されたUSBサウンド回路がWindowsのプラグ＆プレイにて自動認識されます。
(2) Windowsで新しいハードウェア検索ウィザードのメッセージとともにWindows USB AUDIOドライバーが自動的にインストールされます。
(3) コントロールパネル→サウンドおよびオーディオデバイス→オーディオ項目にDR.DAC2 USB AUDIOが表示され、選択できるようになります。

3. ライン入力

携帯型のCDプレイヤー、MDプレイヤー、MP3プレーヤーなどのデジタル出力機能がないアナログ出力だけの機器と接続する際に使用します。

4. ライン出力

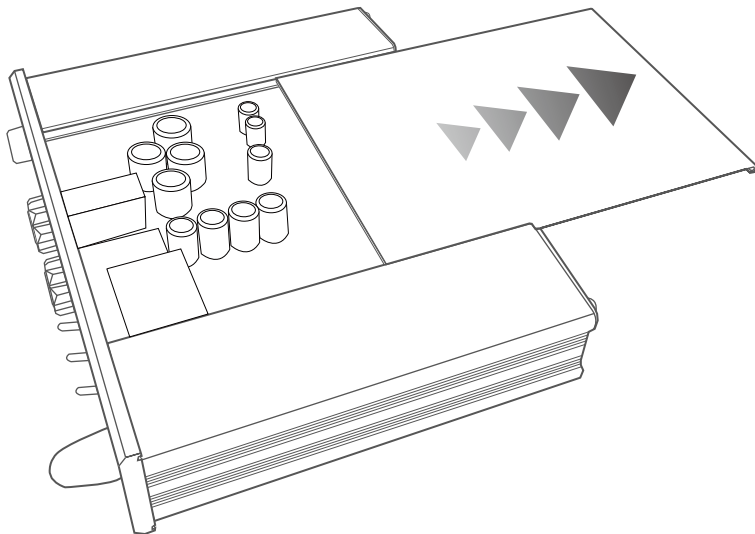
プリメインアンプ、パワーアンプ、アンプ内蔵型スピーカーなどと接続します。
※ライン出力はパワーアンプ出力ではないため、アンプが内蔵されてないパッシブ方式のスピーカーの場合は必ず別のアンプをご利用ください。

5. ヘッドホン出力

ヘッドホンを接続します。一般的なヘッドホンは左側のHeadphone Out 1に接続してご使用いただけますが、300Ω以上のスタジオモニター用などの高インピーダンスヘッドホン使用時には右側のHeadphone Out 2に接続してご使用ください。

OPAMPの交換と注意事項

DR.DAC2のOPAMPはヘッドホン出力用にTi社のOPA2604、ライン出力用にOPA2134を搭載しています。

ヘッドホン出力用のOPAMPを交換する際は、DR.DAC2リアパネルの中央にあるネジを外し、上段ケースパネル(上蓋)を後方に引っ張ってください。

※注意：OPAMPを交換する際は、取り付ける方向に注意して下さい。間違った取り付けによる損傷や機能的な問題が発生する場合保証期間内でも無償サービスを受けることができませんのでご注意ください。

OPAMPの交換はACアダプターを含め、全てのケーブル外した状態で行って下さい。
ライン出力用のOPAMPを交換する際には、DR.DAC2のケースのネジを全て取り外します。OPAMPの取り付けの際は、OPAMPとソケットのホームがある部分の方向が一致することをご確認ください。
DR.DAC2に使用可能なOPAMPはステレオ(Dual Type)/DIP方式で、OPAMP駆動電圧は±14.5 V以上です。
SMD Type OPAMPの場合は、SMD→ DIP変換して使用し、
Single Type OPAMPの場合Single → Dual変換してください。

スペック

ヘッドホン出力	コネクタ	1/4” ステレオフォンジャック
	最大レベル	Port 1 : +8dBV (6Vpp)
		Port 2 : +20dBV (24Vpp)
	最大出力	300mW
	THD+N	0.0008% A-weighted (@ 100mW, 1kHz)
	インピーダンス	0Ω (Load : 16 〜 600)
ライン入出力	コネクタ	RCA
	レベル	-10dBV Nominal (@-16dBFS) / +8dBV max
	インピーダンス	15kΩ(入力) / 200Ω(出力)
USB	対応周波数	最大 24bit / 96kHz
	インターフェース	USB Full Speed
	対応OS	WindowsXP/2000/2003、Vista32/64、Mac OS X
デジタル入力	種別	S/PDIF 光 TOS-LINK 44.1〜192kHz
		S/PDIF 同軸 RCA 44.1〜192kHz
	フォーマット	IEC-60958, S/PDIF
	対応周波数	44.1, 48.0, 88.2, 96.0, 176.4, 192.0 kHz (@ ±3%)
D/A コンバータ	種別	24bit, 192kHz, 8times Digital filter
	ダイナミックレンジ	123dB (@ -60dBFS with A-Weighted)
	THD+N	0.0005% (@ fs=44.1kHz, 0dB)
	周波数応答	0 〜 21.7kHz, ±0.0002dB (@ fs=48kHz)
		0 〜 43.5kHz, ±0.0002dB (@ fs=96kHz)
		0 〜 87.0kHz, ±0.0002dB (@ fs=192kHz)
OPAMP	ゲインミスマッチ	±0.5%(channel to channel)
	駆動電圧	29.0V(±14.5V)
		FDO : NE5532 x 3 (DIP､ソケット式)
		ライン出力 : OPA2134 (DIP, ソケット式)
		ヘッドホン : OPA2604 (DIP, ソケット式)
		ライン入力 : NJM4580 (SMD)
電源	ACアダプター　DC 15V / 1A〜2A	
消費電力		4〜6W程
サイズ (mm)	140x 111x30（幅x奥行きx高さ）	
重量	４４０ｇ　（ACアダプター含まず）	

故障とお考えの前に

Q. 電源が入らない

ACアダプターが正常に接続されているか確認し、電源スイッチを入れ直してください。電源スイッチがオンの状態でACアダプターを接続すると電源が入らず待機状態になりますので、電源スイッチを入れ直して下さい。DR.DAC2の電源をオン／オフ操作する時、機器の初期化、およびシャットダウンの処理で一定時間を要します。7ページの[①電源スイッチ／②電源ランプ]をご覧ください。

Q. 音が出ない

フロントパネルの入力選択スイッチと出力選択スイッチ、ボリュームが適切か確認して下さい。　そしてリアパネルの入力端子と再生機器の接続、作動状態を確認してください。リアパネルのデジタル入力(S/PDIF・USB)またはアナログ入力端子と再生機器との接続が不完全な場合やフロントパネルの各選択スイッチが正しく選択されていない場合は音が出ない可能性がありますのでご注意ください。

DR.DAC2をUSBサウンドデバイスとしてご使用になる場合は、コントロールパネル→サウンドおよびオーディオデバイス→オーディオ項目にDR.DAC2 USB AUDIOが選択されているかを確認して下さい。
リアパネルのRCAライン出力端子とアンプ機器を接続する場合はアンプの状態を確認してください。

Q. パソコンがDR.DAC2を認識しない

パソコンがDR.DAC2をUSBサウンドデバイスとして認識しない場合は、USBケーブルの接続を確認し、他のUSBポートの差し替えなどをお試し下さい。またUSBハブを使わず、パソコン本体のUSB端子に直接接続してください。

Q. ノイズが発生する

DR.DAC2本体やACアダプター周辺に強い磁界を発生する物がある場合や、入出力端子に接触不良がある場合はノイズが発生する可能性がありますのでご注意ください。

Q. 音量が足りない

インピーダンスが300Ω以上、および能率や感度の低いヘッドホンを使用される際で音量が足りないと感じられる場合は、Headphone Outputs　2端子に接続して下さい。DR.DAC2をUSB　サウンドデバイスとしてのご使用になる場合は、Windows　ボリュームミキサーでマスターボリュームとウェーブボリュームを最大に設定し、再生ソフトウェア側で音量を調節してご利用ください。

保守サービスのご案内

■ 保証(修理・サポート)サービス規定

ユーザー登録していただいたお客様のみ、修理・サポートサービスをお受けいたします。
ユーザー登録は、購入日を含む30日以内に完了してください。30日を経過した場合には、修理サービスは有償とさせていただきます。

- 販売店発行のレシートのない製品は修理・サポートサービスを受けられません。
- シリアル番号の確認ができない製品は、修理・サポートを受けられません。
- 保証期間を経過した製品は、有償サポートとなります。
- 保証期間を経過した製品は、有償修理となります。
- お客様の過失により修理を依頼される時は、有償修理となります。
- 中古品、譲渡品の場合、有償サポートとなります。

■ 修理について

保証期間内に、正常な使用状態において、万一故障した場合には、無償で修理いたします。
次のような場合には、保証期間内でも有償修理とさせていただきます。

- 取り扱い上の誤り、不当な改造や修理による故障及び破損
- お買い上げ後の衝突、落下あるいは移送による故障及び破損
- 火災、異常電圧、天災などによる故障及び破損
- 保証書の提示のない場合
- 購入店レシートのない場合
- 保証書の未記入、または字句の訂正のある場合
- ユーザー登録の確認のとれない場合
- 海外でご使用された場合

■ 修理依頼方法

弊社修理サービスを受ける権利を有するお客様が、修理を希望される場合、下記の手順に従って、弊社修理サービスをお受けください。
インターネットで弊社サポート関連記事(http://www.audiotrak.jp)を参照してください。
Eメール(support@audiotrak.jp)にて、必要事項をご確認の上、問い合わせください。
サポート担当者が、お客様の製品に対し、要修理と判断させていただいた場合、担当者の指示に従って、修理サービスをお受けください。お客様が故障と判断された場合でも、弊社サポートにご相談いただくことで、容易に解決されるケースも多々ございます。販売店に返品・修理のご依頼をされる前に弊社サポートまでご報告ください。

■ 修理・サポートをご依頼される場合の事前確認事項

修理・サポートのご相談をいただく場合、弊社サポート担当者が、お客様に尋ねさせていただく確認事項がございます。事前にご自分のデータを分かる範囲で、お手元に揃えておいてください。

- お客様のお名前・ご住所・電話番号・Eメールアドレス
- 製品名・シリアル番号・販売店・購入日
- 製品の接続状況

■ ユーザー登録のお願い

製品の保証はユーザー登録後、有効になります。ユーザー登録を行っていない場合、製品の保証・サポートを受けることが出来ませんのでご注意ください。製品の保証期間はご購入日より1年となります。

インターネットでの登録方法

http://www.audiotrak.jp/support/

上記URLにアクセスしていただき、ユーザー登録のページで必要事項を入力してください。
製品のシリアル番号(Serial.No)は製品パッケージに記載しております。

便利メモ
ご購入されたときにご記入ください。

品 名：**DR.DAC2**

ご購入年月日：　　　年　　月　　日

ご購入店名　：

TEL.(　　)　　ー

メモ

株式会社 エゴシステムズ

〒101-0043　東京都千代田区神田富山町２6-6

ホームページ：**http://www.audiotrak.jp/**

サポート：**http://www.audiotrak.jp/support/**